



寿光園だより

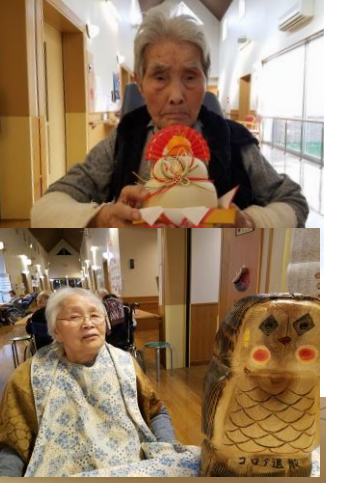
第 0075 号
令和3年3月 発行
制作：寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



笑顔で神頼み
今年こそ病魔退散!!



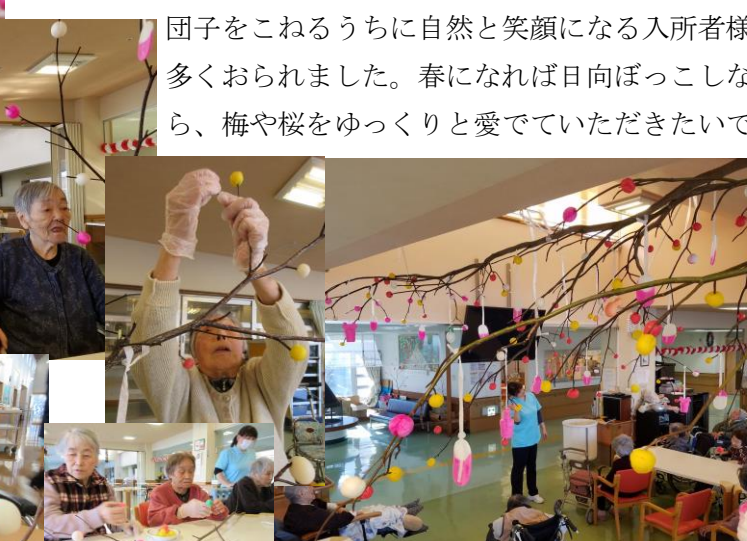
寿光園の年末年始はしめやかに過ぎていきました。正月飾りを職員が飾り付けて、入所者様との会話においても年越し蕎麦や紅白歌合戦の話題が自然と出てきます。年末ということもあり、リモート面会も普段に増して多かったようです。施設に寄付されたアマビエ様の手彫り木造。職員がもってくると撫でて願掛けをする入所者様もおられました。御家族様の無病息災と変わらぬ健康を祈っているような表情でした。



団子こねこね小正月

去年と違い、今年は本当に寒い冬で雪も多く降りました。暖かい春が待ち遠しい1月。小正月を迎え、入所者様が手仕事に励んでいます。薄い煎餅のような飾りを紐で枝に結びつけたり、昔ながらの色団子をこねて枝に巻きつければ、あっという間に梅が咲いたような枝に変身します。昔は御孫様と一緒に話をしながら、この作業をされたのでしょうか。

団子をこねるうちに自然と笑顔になる入所者様も多くおられました。春になれば日向ぼっこしながら、梅や桜をゆっくりと愛でていただきたいです。



コロナ禍の施設生活、それぞれの過ごし方。

昨年の夏から初秋にかけて新型コロナが一旦下火になりました。長く続いた外出制限もあって、少しでも外の空気を楽しんでいただきたくて車窓ドライブを計画したりもしました。秋冬ともなればそれらも難しくなりましたが、世間がそうであるように、暖炉を囲んだり、施設行事を自らが撮影されたり、短歌や俳句を詠んだりするなど、入所者様においてもそれぞれで様々な室内での過ごし方がありました。

ほかほか暖炉



秋の車窓ドライブ

自分だけの趣味